



木楽々通信

き ら ら

ほっとな現場から

現在進行中！

【担当の千葉より】

今回の工事は、間取りをすべて変えるので、屋根と柱は残し、天井・壁・床を全部解体しました。写真は解体が終わり屋根と梁、柱だけになった状態です。

現在、本格的に改修工事に着手しています。

リビング・ダイニングには新ストーブを設置して、温かく快適な住宅に生まれ変わる予定です！

11月完成に向けて着々と工事が進んでいます。

千歳町 G様邸



藤沢町 T様邸

もうすぐ完成！

今年6月に地鎮祭、7月に上棟式を行った藤沢町のT様邸、つい先日、足場が外されて、外観がお目見えしました！住宅部分の内装・外装の工事は終了しています。外溝工事、器具付けなど仕上げの段階です。



来月中旬には完成予定です！皆さまには、完成した際に改めてお披露目させていただきますので、楽しみにしてくださいね！(#^_^#)

【木楽々くらぶからのお知らせ】

今年度の「薪割りくらぶ」は残念ながら、お昼の交流会はなしということで予定しております。

日時：11月21日(土)、22日(日) 10時～

ご連絡、お待ちしております♪

携帯 090-6223-7981 (玉澤さちこまで)

9/21(月・祝)は

敬老の日

日本の国民の祝日であり、毎年9月の第3月曜日が敬老の日です。

そのルーツは意外に浅く、1947年

(昭和22年)9月15日に兵庫県

多可郡野間谷村が敬老会を催した“

としよりの日”が始まりとされています。

その後、この風習は全国に広がりを見せ、1966年(昭和41年)に「敬老の日」と名称を改めて正式に国民の祝日として制定されました。

2020年は、9月21日(月・祝)が敬老の日となっています。

敬老の日は1966年に制定されましたが、2001年に祝日法改正(通称ハッピーマンデー)をきっかけに、2003年以降は9月の第3月曜日に変更となりました。これにより SW(シルバーウィーク)という概念が誕生しました。

長寿を祝う敬老の日ですが、厳密に何歳からお祝いするというルールはありません。

年齢で考えるのではなく、自分と相手の間柄を考え、孫から祖父・祖母へ感謝の気持ちを伝えることが一番大切です。みんなで集まって日頃の感謝の気持ちを伝え、長寿を願って食事会などを開くのが一般的。

記念品も写真立てや貴金属類

の実用的なものからお菓子や花束、旅行など様々です。

どちらも素敵なプレゼントですが、一番理想的な形は「思い出として心に刻めて形として手に残るモノ」なのでは！

おすすめBOOK



【サンドウィッチマンの東北魂】

あの日、そしてこれから



サンドウィッチマン(著/文) 発行:扶桑社

2011年3月11日に宮城県気仙沼市でのテレビ番組のロケ中に東日本大震災が発生し被災したサンドウィッチマンのふたり。

そして、その年の7月からラジオ番組「サンドウィッチマンの東北魂」を開始、東北出身のふたりが生粋の“東北魂”と本音の“トーク魂”

をかけ放送しているラジオ番組でゲストを迎えたいろいろな人たちとの対談が書籍化されました。

サンドの二人が人との絆を大切にしていることや東北への途切れない思いが、軽妙なトークとともに伝わってきます。

“笑って東日本大震災の風化を防止する”東北で起きたこと、いまでできることを、西村由紀江、渡辺謙、林家たい平ら、様々な分野で活躍する番組ゲストとともに語り尽くしています!!

今月のセレクト

空前の“ボードゲーム”ブーム到来!!

【コロナ巣籠もりにも…】家での時間を持て余してしまう、という人も多いのでは。そこで、1人でも複数でも楽しめるカードゲームやボードゲームはいかが? カードをめくったりサイコロを振ったり、という懐かしい動作で心が安らぎ、日ごろ液晶画面を見続けている目の休憩にもなりそうです。



ボードゲームの面白さは、スマホやパソコンのゲームと違い、人と向き合っていくところにあります。自然と会話が生まれるため、家族や友人同士のコミュニケーションツールとしても有効。大人向けの難解なモノになると、表情を読んだり、駆け引きしたりする心理戦も面白みのひとつです。ボードゲームのパリエーションは驚くほど豊富にあります。この機会に身近な方と楽しんでみてはいかがでしょうか♪



～木楽々なくらし～お施主様の声～

【陸前高田市 K様より】

軽量鉄骨造りで建てた家は、津波で流出し、私にとって2回目の家づくりであった。

多くの住宅展示場や完成見学会会場を見て回中、無垢の木と漆喰の壁でつくられた空間がとても居心地がいいことを肌で感じた。

たまたま見つけた木楽々工房の看板が気に入り、早速展示場を見学に行くと、思い描いていた家に出会えたような気がした。加えて、誠実に対応してくださった社長さんのお話を伺う間に、安心感とワクワク感が沸いてきた。建設中も毎日のように足を運んだが、完成した家は、間取りの空間も床も壁も梁を見せた天井も、すべて予想をはるかに超えていて、凄いなあとしか言いようがなく、これが自分の家になると思うと嬉しくてしょうがなかった。



入居して1年と8か月過ぎたが、いまだに満足度は120%である。社長さんをはじめ、大工さんや内装、建具等の職人さんのプロ意識を感じられる自慢の家です。

お忙しい中、ありがとうございましたm(_ _)m

【発行】 木楽々工房 編集部 伊東

2020年119号

岩手県一関市藤沢町砂子田字境田 15 番地 2

展示場 ☎0197-56-6980(土、日、祝日) 本社 ☎0191-63-4160(平日)

Eメール tamazawa@kirara-airpass.com

☆ご意見ご感想などお便りをお待ちしています☆ 令和2年9月発行